THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2015-2016)
国　　際主題：　"Mission with Faith"（信念のあるミッション（使命・目標））
ア ジ ア主題：　"Through Love, Serve"（愛をもって奉仕をしよう）
西日本区主題：　「あなたならできる！きっとできる」"You can do it! Yes, you can!"
中 西 部主題：　和を以て貴しとなす
ク ラ ブ主題：　過去はもはや関係なく　未来はまだ来ぬ

Monthly Bulletin
第233号
2016年6月

聖書のことば

そして、子供の手を取って、「タリタ、クム」と言われた。これは、「少女よ、わたしはあなたに言う。起きなさい」という意味である。
（マルコによる福音書５章41-42節）
選者　江見　淑子

６月第１例会プログラム

日時：2016年6月8日（水）18：30～20：30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会　生雲　文枝
1．開会点鐘　鳥居　翠会長
2．ワイズソング
3．聖句朗読　江見　淑子
4．ゲスト・ビジター紹介　鳥居　翠会長
5．連絡・報告・ニュース
6．食前感謝＆食事
7．卓話
「音楽療法って？」
阿部　恩さん（頌栄短期大学名誉教授）
8．お誕生祝い
9．ニコニコ献金　ドライバー
10．YMCAの歌
11．閉会点鐘　鳥居　翠会長

例会当番（D）　受付当番（C）

阿部　恩（めぐみ）さんプロフィール

1942年神戸市に生まれる。同志社大学大学院神学研究科修了後、日本キリスト教団神戸教会担任教師として勤務。
その後大阪音楽大学音楽学部声楽専攻卒業し、1977年向陽病院音楽療法士として勤務。1981年より頌栄短期大学に勤務し、同大学学長を経て、2014年３月退職。
現在、頌栄短期大学名誉教授。向陽病院にて音楽療法およびチャペル・アワーを担当し、活動している（非常勤）。

"なかのしま１日研修会" 報告

渡辺　宏子

毎年４月29日（祝）は、10時30分から19時30分まで「１日研修会」を持ち、今年度を振り返り、次年度予定、今後に向けての大切な話し合いの時を持つことにしています。

初めに小さい礼拝として、聖書を読みお祈りの後、讃美歌を歌いました。そして「話し合い１」は、１年を振り返り各事業委員長・三役の報告がなされ、各自メンバーの振り返りは、これからの大阪なかのしまクラブの活動に良い方向を、もたらしています。

昼食後、次年度に向けて次期会長主題、方針発表がなされ、次期事業委員の確認と各事業委員分科会が持たれました。そのあとは、ティーブレイクで短い歌を３つ歌いました。大きい声を出すことの気持ちよさを味わい、「話し合い２」に入りました。ファミリーコンサートについて、「支援プログラム」について、20 周年を迎えるわがクラブの記念祝会の役割分担について話し合いました。

研修会の最後は、４月の第２例会です。５月例会について、６月のブリテンの内容について、３月に持ったファミリーコンサートについて、「なかのしまパンフレット」「なかのしまマニュアル」の改定について、熊本地震支援について、７月30 日の第１回評議会後の勉強会に出席するメンバーについて話し合いました。

盛りだくさんの話し合いの最後にいただいく夕食のおいしかったこと！！

良いお天気だったお昼間の景色が、ネオンの何色かの色に染まり、心地よい疲れも感じながらの帰路は、気持ちがいいのひとことで終えることになりました。

５月統計				４月修正	
第１例会出席者数		例会出席率			
メンバー	15名	出席者	15名	出席者	16名
ビジター	1名	メイキャップ	2名	メイキャップ	1名
ゲスト	1名	合　計	17名	合計	17名
コメット	1名	在籍者	19名	在籍者	19名
合　計	18名	出席率	89%	出席率	89%

BF 統計：外国 8g　累計　80g
日本 125g　累計　1530g

提供者：今井、江見、国友、桑原、杉浦、武井、藤好、保田、吉田、渡辺

なかのしま恒例「１日研修会」

……

５月例会報告

暮らして知る台湾、外へ出て知る日本

生雲　文枝

5月 11 日、18 時 30 分より、ホテルグランヴィア大阪にて、第１例会は始まりました。

今月は、なかのしまクラブに今期入会された山佐亜津子さんの卓話「暮らして知る台湾､外へ出て知る日本」です。

山佐さんは現在、大阪 YMCA の国際､語学事業に携わっておられ YMCA 勤務 27 年のキャリアをお持ちです。今期、ワイズの国際大会が台湾で開催されることもあり、２年間台湾 YMCA で日本語教育のスタッフとして台北に滞在された経験をもとに台湾の民族、言語、歴史、政治などを詳しくお話し下さいました。

台湾の方は皆さんがご存じのように親日家が多く、フレンドリーで親しみやすい、大阪のおばちゃんのような性格の人が多い。しかし、かなり親しくなっても本音は言わないという所が私的には興味深かったです。また結構アバウトな面もあり、時間厳守出来ない人がかなりいるそうです。

一方、台湾で暮らしてみて、日本の良さも実感されたということです。まず、日本製品のすばらしさ、炊飯器やシャープペンシル、カップヌードルなどが日本で発明されたということは知っていましたが、山佐さんの説明から日本で発明された物が沢山あることに驚かされました。

お話しを伺い、これから山佐さんに、なかのしまクラブと IBC を締結している台中エバーレインボークラブとの交流の懸け橋になっていただけるのではないかという期待が膨らみました。

今回は、いつもより広い部屋でゆったりとした雰囲気の例会を楽しみました。

……

うなぎの森植樹祭に参加して

鳥居　翠

絵に描いた５月晴れのGW最終日。８日日曜日に中西部奥田部長の号令の下、うなぎの森植樹祭に参加してきました。

総勢 340 名余り、そのうち　↑ワイズからは 60 名弱、そこに YMCA からチビッ子達も参加してくれて、わいわいとにぎやかな中スタートです。

オープニングセレモニーが始まり、来賓の方々のご挨拶などが進んでいく中、時折下の駐車場からドーンという音。高槻クラブさんが子供たちのためにポン菓子を作ってくれていました。

植樹のやり方も教えていただきスタートです。我がなかのしまの植樹本数は 15 本、参加者は私を含め５名（笑）……どうしようかと途方に暮れていると、参加者の中に澄川会長の姿と、とってもたくましい体つきの留学生の方々！！　忍者のようにスーっと横に行き、何本かお手伝いいただけませんか？　とお願いすると快諾していただけました。手元に残ったプレートは６名分。これならばと意気揚々と苗木をいただきにまいりました。

苗木は桜と紅葉がありました。まずは穴を掘り、土を柔らかくする肥料を混ぜ苗木を植え土をかぶせて終了です。と書くと簡単そうに思えますが、あらゆるところに太い根が張ってあり掘り起こすのが一苦労です。

何とかすべてを終わらせると、月曜日からは雨ですよとの情報が……苗木にとって恵みの雨になればよいなと思いながら、お昼ごはんの会場へ。お寺の２階の講堂を借り切ってプチ宴会モードです。お食事も終わりかけのころ、坂本メネット主導で○×クイズが始まりました。環境クイズということで、熱帯雨林のこと密林のこと動物保護のこと深いテーマでありながらも坂本メネットのキャラクターで楽しく学ぶことができました。心地よい疲労と達成感と、ちゃっかりいただいたポン菓子を胸に帰宅いたしました。

……

大阪センテニアルクラブ例会訪問記

杉浦　眞喜子

みなさん「道具屋筋」ってご存知ですか？　中央区千日前商店街の一部､（と言っても私には良くわからないのですが……）とにかく、厨房、台所道具と飲食店が軒を連ねている商店街とか。ちょっと一度行ってみたい！　所です。４月 20 日、大阪センテにアルクラブ第１例会は､「道具屋筋の新たなチャレンジ」のお話でした。

「桜の間」にテーブルが３ つ、１週間前のなかのしまの例会と同じようなシチュエーションで、緊張なく楽しい雰囲気に浸れました。お食事も同じようなお弁当でしたが、中味は勿論同じではありません。いつもの「お品書き」､メネットさんが「アッ、今日はお品書きがついている！」と。同じこと、違うこと、いろいろあるみたい。

さて､道具屋筋でのチャレンジですが､2013 年 10 月に、超特大の「たい焼き」を作って、ギネスブックに認定されたというお話｡何でたい焼き？　何でギネス？　と｢？マーク」いっぱいで聞き入ったお話、商店街の活性化の一環で「メディアを呼べるような企画を｣というところから始まったとか。たい焼き機の製造から始まって、大量の粉と大量の餡子を使って､重さ 12Kg ほどの巨大なたい焼きを無事に焼き上げるまでに、16 回の試行錯誤を繰り返したとか。その失敗作、どうしたのかしら？　とまた「？マーク」が一つ。

実際にその企画に関わられた若いお二人によるトークは、元気一杯。必死の苦労話も、くすくす笑えてきて、楽しく聴かせて頂きました。なかのしまからは、今井さんもご参加でした。

STAY HUNGRY, STAY FOOLISH, 12

生雲　文枝

ガラスの天井（glass ceiling）

私が就職した時代は、女性が昇進するのは難しかった。大成建設でも一級建築士の資格を持っていても、主任になれず、図面の手直しをさせられている人が殆どだった。

でも今は違う。ニッカ工業の後輩の女性社員はたくましい。皆、男性並み、いやそれ以上に仕事が出来る。結婚して、子供が生まれても、産休をとって職場復帰をして、仕事を続けている。デザイナーは少しでも休むと感覚が古くなり、使えないそうである。だから一時でも休めない、皆さん、たくましいのである。

私は女性がいくら頑張っても組織のトップになることを阻む見えない障害・ガラスの天井を打ち砕く日がもう、すぐ近くに来ているのではないかと秘かに期待している。

日本の企業は女性管理職が少なく、先進国の中では下位にいるし、政治家にいたってはもっと数が少ない。日本でも名前だけでなく、本当の実力を持った女性の経済人や政治家が誕生することを切に願っています。

ハングリーであれ。愚か者であれ。

スティーブ・ジョブズ氏はこの言葉をスタンフォード大学の卒業式で述べられています。

彼はこの時にはもう自分にとって残された時間が余り長くないということを悟られていたそうです。それだからこそ、若者に人生で一番大切な事は自分の好きな道をやり遂げること、そういうメッセージを残されたのだと思います。

新しい発想で製品を送り出そうとするあくなき探究心や情熱がこのシンプルな言葉に凝縮され、多くの若者の心を揺さぶりました。

人生はそれほど長くはないのだから、何十年か前、若者であった私たちも、後悔のないように残りの人生を送っていきたいものです。どんなことでもよいのです。前向きに努力して生きていきたい。何歳になっても、ハングリーであれ！　愚か者であれ！

12 回続いたこのコラムは今回で最終回となります。私の拙い文章にお付き合い下さり、ありがとうございました。さまざまなご意見、ご感想を下さった皆様に心より感謝申し上げます。

世界探検をしている目　12

江見　淑子

今を生きる子どもたち

私は毎週「何を話すか」という内容に困ることはありませんでした。礼拝の前 15 分ほどの間に保育室で見たり聞いたりすること、自分が聖書を読んだ時の体験が連想を呼びます。５分足らずの話でも、準備時間は広がりと収斂の間を往来して賑やかな頭になります。このコラムを終わるに当たって、書き記しておきたいことがあります。

一緒に登園する親に翻訳してもらわなければ分からない言葉や表情と表現に、私は胸が熱くなります。「この人に伝えたい」という思いを聞く尊さです。ギリギリ切り詰めた短い言葉でまっすぐ問いかけます。理不尽なことを受け入れる嘆きに身悶えしています。誇らしげな事、世界の解釈を話してくれます。

ある質問：ねえ、神様は寝ないの？

そうか、夜寝るときのお祈りはどうするのかと聞かれた翌週でした。夜の間もお守りくださいと言ったので次の疑問が湧いたのです。

ペットがなくなった時、今どこにいるの？　と聞かれます。「お母さんが帰ってこない」と泣いて訴えられた時は、わたしの妄想が広がりますが何も言えなくて抱きました（後日、妄想は当たっていないことが判明）。

「ねえ聞いて〇〇ちゃんとね、〇〇ちゃんとね、〇〇ちゃんとがね、私のことを好きと言ってくれたの」どんなにいい顔だったことでしょう。そう、誰もが愛されるために生まれたのだと思いました。

ある時は「ババちゃんが死んだの、ババちゃん（祖母）は光る雲の中にいるよ」と言います。お母さんは「この子は２歳ぐらいの時、生まれる前の雲の中にいた話をします。キンダーカウンセラーの先生は、生前記憶かもしれないといいました」と教えてくれました。この子は本当に繊細で、難しい質問を一杯しますので私の宿題が増えます。

ジャングルジムでは「先生、礼拝最後のお祈り覚えたよ」と暗唱して聞かせてくれました。また、遊びのファンタジーも物語になっていて「蛇女王」（背高あわ立ち草）に仕える神官になっている女の子は「この小さい草は女王の子どもたち、子どもたちは女王が嫌いなの」と囁いてくれます。

幼稚園には、この世界に生きる知恵と力を日々磨いている子どもがいます。私は小さな子どもを尊敬するようになりました。

４月第２例会報告抄

2016 年4月 29 日　ホテルグランヴィア大阪

１：吉田由美さんを次々期地域奉仕・環境事業主任にとの大野勉次々期理事からの要請を、クラブとして喜んで確認した。
２：ファミリーコンサートについて、次年度もセンテニアルクラブと共催で行うことを承認した。
３：クラブのリーフレットを改訂。編集担当は生雲、吉田、鳥居。
４：なかのしまマニュアルの一部改訂をする。メンバー各自の担当事業に関する改訂部分をそれぞれ提示。それを基に、作業は杉浦が担当。
５：熊本地震のための献金をして（15,525 円）、西日本区事務所のワイズ熊本災害支援口座に入金する。今後も引き続き献金を捧げることにする。

５月第２例会報告抄

2016 年5月 18 日　大阪 YMCA　504 号室

第２例会に先立って「なかのしま工房」を開き、倉庫の在庫調べ及び、下記４用の梱包発送作業を行った。

１：次期会計監査を藤井弥生さんに決定。
２：20 周年祝会関係の予算の概要を出して検討した。
３：ミャンマーYMCA 同盟へ中古子ども衣料を船便にて送った（5月9日）と報告があった。
４：古着、バッグなどを「フリーヘルプ」（「ウィメンズネット・こうべ」の活動を支援しているチャリティーショップ）へ本日、宅配便で送ったとの報告があった。

ニコニコ献金　5月　24,800 円

5 月のニコニコ献金は、
熊本地震支援募金に捧げます。

〈ニコニコメッセージ〉―　5月例会　―

☆お誘いを受けて３回目の参加になりました。よろしくお願いいたします。（ゲスト：瀬島恵子）

☆いつもながら女性に囲まれての集いに参加できて“ひときわ”美味しく、心も明るい時を過ごさせていただきます。（大阪センテニアルクラブ：山田孝彦）

☆３０年近く働いた会社の支店が台北にあり、台湾人のスタッフと一緒に仕事をしてきましたので、懐かしく、お話しを伺うことが出来ました。（生雲）

☆大阪サウスクラブ 60 周年をとても元気に賑やかな祝会でした。反面、西クラブの藤原さんのお通夜があり松下さんのおケガなど、とても忙しい１週間でした。嬉しいこと悲しいこと色々巡り会うのが年齢のせいでしょうね。（今井）

☆山佐さんのお話の前に、11 日のニコニコは熊本への支援金とする提案が決まりました。丁度、箕面教会の内海和子さん（時々なかのしまの例会や集まりに参加してくださっている）が「熊本への支援金をなかのしま募金の中に入れて一緒にしたい」と希望され、5000 円預かってきていました。今日のニコニコに入れました。なかのしまを応援してくださる方たちに支えられていることを感謝し、皆様にお知らせしておきます。（江見）

☆親戚合同追悼記念会に 30 人が集まりました。おばあさん組は戦中、戦後の話で盛り上がり、世は移り、それぞれの家族の子どもたちの成長に目をみはりました。（大岸）

☆先月 YMCA のプログラムで台湾から 65 名のシニアの方が来られ交流しましたが、今日のお話のように似ている台湾のおばちゃんと大阪のおばちゃんは本当に意気投合していました(笑)。（大橋）

☆山佐さんの台湾語り、素晴らしかった。量が問題、というのがカルチャーショックです。レインボーさんへのお土産は大きな缶入りゴーフルで決まり！だね。（国友）

☆８日で 72 歳になりました。70 代なんて、自分でも信じられないのですが……。でも与えられたものを大切に、生きていきたいです。なかのしまのみんなからのカードが楽しみです。（杉浦）

☆災害は忘れた頃にやってくるって、本当ですね。熊本地震は余震が長く続き、被災者の方々の苦悩を思うと、胸が痛みます。私たちの出来る手助けを……。熊本城を観光するのが夢だったのに。（武井）

☆ミャンマーにおくる洋服のせいりにいってきました。（武井美帆）

☆熊本の方々のお心が少しでもおだやかなものになりますように。（鳥居）

☆大相撲夏場所は稀勢の里、野球は巨人、テニスは錦織圭、楽しく応援して見ています。（藤井）

☆なかのしまは、個性豊かなクラブですが、とってもチャーミングな山佐さんが加わって益々、魅力溢れるクラブになります。これからが楽しみ！（藤好）

☆山佐さんの台湾のおはなし、とても興味深かったです。なかのしまの例会はたのしいです。（保田）

☆２ヶ月ぶりの例会出席です。温かいメンバー皆さまにお会いでき、せかせかしていた気持ちと頭が、ほっと和みました。感謝で～す。（山佐）

☆神峯山寺での「うなぎの森」プログラムに参加したが、山歩きが大変でした。でも植えた木のタムシバ（モクレン科のコブシに似た花が咲く）の成長が楽しみだ。（吉岡）

☆素敵な山佐さんがなかのしまメンバーになって下さって本当に良かった！　いつか山佐さんとご一緒に台湾や東南アジアを巡りたいなぁ～（吉田）

欠席者メッセージ

★山佐さんの卓話聞きたかったのに久し振りの黒星。聖句朗読の役目も果たせず済みません。聖句を選んだというより、句の前にゴチックで書かれた「主が定めた生き方」という言葉に目が留まり、「与えられた分に応じ、その時の身分のままで歩みなさい」に納得した次第です。クリスチャンではないので、自分勝手に解釈をしています。（桑原）

YMCA ニュース

☆第 277 回 早天祈祷会

日時：2016 年６月 17 日(金)7:30～8:30
証し：木山　敦子さん（YMCA とさぼり保育園スタッフ）
場所：大阪 YMCA 会館　10 階チャペル

☆熊本地震緊急支援募金のお願い

【期　　間】2016 年４月 18 日（月）～6 月 30 日（木）
【募金目的】地域コミュニティ復興（避難所運営・現地コーディネーター派遣、活動運営費など）および被災した熊本 YMCA の再建・運営支援を目的とした募金を実地しています。

大阪 YMCA では、地震発生の２日後に現地の被災状況と支援の必要調査にためにスタッフを派遣し、現在まで４月 21 日から２陣に分けて現地へ支援スタッフを派遣しています。

現地の必要性から、避難生活を送られる方々への「ストレスケア」および「リフレッシュプログラム」を中心に、ボランティアコーディネート、高齢者への介助、調理など幅広く支援活動を実施しています。ご支援をよろしくお願いいたします。

＊募金は、大阪ＹＭＣＡから日本 YMCA 同盟を通して熊本 YMCA に送られます。
日本 YMCA 同盟への寄付金は、寄付金控除の対象となります。税額控除用の領収書が必要な方は、後日、日本 YMCA 同盟発行のものをお渡ししますので、氏名・住所・TEL をお知らせください。

《《《　お知らせ　》》》

◎上好様（今井さん友人）から使用済み BF 切手を頂きました。感謝。

◎清水様（今井さん友人）から献金と BF 使用済み切手を頂きました。感謝。

◇６月お誕生日の方◇　*Happy　Birthday*

渡辺　宏子　　５日　　吉岡　香代子　　６日

編　集　後　記

今月号で編集後記を書くのは最後だと思っていたのですが、来期もブリテン委員は同じメンバーでお引き受けすることになりました。

７月からも宜しくお願いいたします。